

ナノエレクトロニクス技術フォーラム ーグリーン・エネルギーとイノベーション創出ー

- 開催場所：東京ビッグサイト
- 主催：ナノエレクトロニクス研究会
- 担当部署：知的基盤部
- 参加者数：256名

概要

IT・エレクトロニクス技術は、多くの産業において製品やサービスの高機能化や生産性向上を実現するためのキーテクノロジーとして、各種製品やサービス等の付加価値創造の源泉を担っており、社会の発展に大きく貢献してきました。

今日の社会で扱う情報量の急激な増加に伴い、増大するエネルギー消費は、世界共通の課題である地球温暖化の一要因となっており、革新的なIT・エレクトロニクス技術開発による解決が急務となっています。革新技術の中でも特に、ナノエレクトロニクスは、従来のエレクトロニクスの機能を格段に向上させ、かつ大幅な省エネルギーを実現できるキーテクノロジーと期待されています。

(社)電子情報技術産業協会（JEITA）では、これまで、当該分野の開発動向調査を実施すると同時に、ナノエレクトロニクスの研究開発の重要性を提言してきました。また、ナノエレクトロニクスが今後、グリーン・エネルギー等の様々な産業分野にいかに関与し、イノベーションを創出していくのか、将来のアプリケーション動向を現在調査しておりますが、これらの活動の一環として、「nano tech 2011」の期間に併せて、東京ビッグサイトで一般公開のフォーラムを開催致しました。

今回は、将来アプリケーションとしてグリーン・エネルギーに焦点を当て、中馬宏之氏（一橋大学）をはじめ、各専門分野の有識者の方々に講演いただきました。



中馬宏之教授（一橋大学）



大谷成元主査
(ナノエレクトロニクス研究会)



会場の様子

プログラム

午前の部

司会 松岡秀行 ナノエレクトロニクス研究会 委員 ((株)日立製作所)

○開会の挨拶

(社)電子情報技術産業協会 常務理事 長谷川英一

○基調講演「日本の半導体R&D戦略に何が求められているのか?ーネットワーク分析の視点からー」

一橋大学 イノベーション研究センター 教授 中馬宏之 氏

○「(独)産総研グリーン・ナノエレクトロニクスセンターの取り組み」

(独)産業技術総合研究所 理事 金山敏彦 氏

○「物質・材料からみたナノエレクトロニクスー物質・材料研究機構のナノエレクトロニクス研究を中心にしてー」

(独)物質・材料研究機構 半導体材料センター センター長 知京豊裕 氏

○招待講演①「スマートグリッド(次世代送電網)の現状と今後の動向」

和光大学 経済経営学部教授 経済学科長 岩間剛一 氏

○招待講演②「スマートグリッド、スマートハウスと電気自動車」

日産自動車(株) プログラム・ダイレクトオフィスカーウィングス 担当主管 野辺継男 氏

午後の部

司会 福島 伸 ナノエレクトロニクス研究会 委員 ((株)東芝)

○招待講演③「太陽光発電の市場・技術動向」

(独)産業技術総合研究所 太陽光発電研究センター 太陽電池モジュール信頼性評価連携研究体 研究体長 増田 淳 氏

○招待講演④「エネルギーハーベスティングの最新動向」

(株)NTTデータ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティング本部 シニアスペシャリスト 竹内敬治 氏

○招待講演⑤「排熱再資源化および太陽熱発電向け環境低負荷型熱電発電の実用度」

東京理科大学 基礎工学部 材料工学科 准教授 飯田 努 氏

○招待講演⑥「センサーネットワークのアプリ動向」

(株)日立製作所 情報・通信システム社 ワイヤレスインフォ統括本部長 木下泰三 氏

○総評

ナノエレクトロニクス研究会 主査 ((株)富士通研究所) 大谷成元